

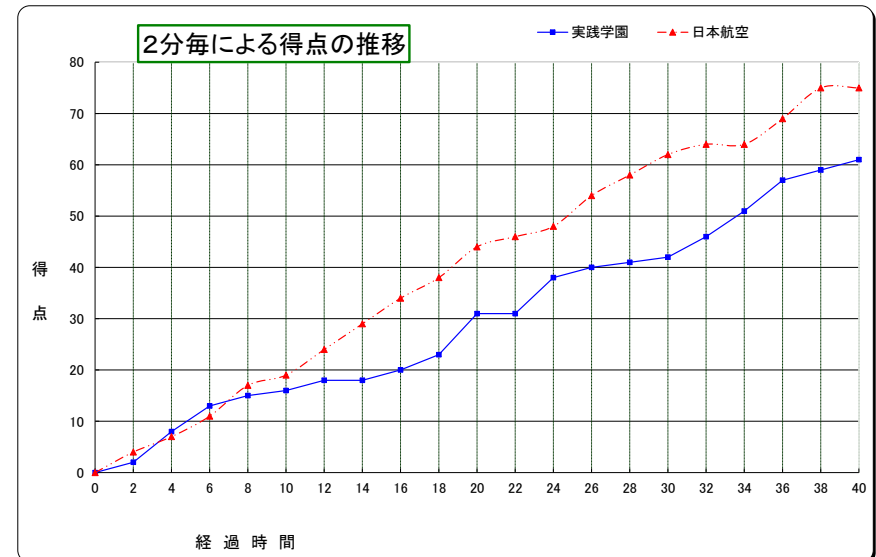
# 令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)  
カミケンシルドーム  
1回戦

チームA <b>実践学園 (東京)</b>	<b>61</b>	{	<b>16</b> 1st <b>15</b> 2nd <b>11</b> 3rd <b>19</b> 4th	}	<b>75</b>	チームB <b>日本航空 (山梨)</b>
------------------------------	-----------	---	--	---	-----------	------------------------------

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	鈴木 若葉	8	2	6	1	8			1		4	1	1		
5	東ヶ崎 泉	18			7	25	4	9	2	5	3				3
6	長滝 星空	19	1	2	6	20	4	7	4	5	6	1		1	6
7	柴田 ありす	2	0	4	1	6			1		1	2			
8	矢吹 ひなた	14	2	4	4	13				1	7	2		1	2
9	近藤 璃利花	0													
10	岸川 咲希	0			0	1									1
11	堀毛 美音	0													
12	木村 麗	0													
13	宮崎 莉麻	0			0	1			1						
14	下村 直	0													
15	荒尾 杏海	0													
16	飯塚 舞桜	0							1						
17	上條 花音	0													
18	朝日 梨菜	0													
コーチ	村松 啓三														
		61	5	16	19	74	8	16	10	11	21	6	1	2	12
	確率		31.3%		25.7%		50.0%				計 32				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
0	森田 椿彩	2			1	5			4	1	1	1			4
5	藤井 花	23	1	3	8	20	4	4		1	2				3
8	松久 明未	0													
11	大柴 沙和	14	0	1	5	15	4	4	1	6	5	2	9		2
14	野田 優菜	0	0	2					1						
17	末木 わか	11	1	3	4	11			1	2	11	3		1	2
18	原 優月	0													
20	富田 穂生	0													
28	林 姫歌	0													
31	古畑 美咲妃	0													
32	宮下 世風	0													
39	横 さくら	0	0	1	0	1				2	2	1			2
42	SOETN OYINKANSOLA SHADE	25			11	19	3	8	4	14	15			1	6
50	那須 寧	0	0	5	0	4			2		1				2
88	戸澤 美智琉	0													
コーチ	逆瀬川 慶浩														
		75	2	15	29	75	11	16	13	26	37	7	9	2	21
	確率		13.3%		38.7%		68.8%				計 63				



**戦評**

第1Q、実践学園はオールコートマンツーマン、日本航空はハーフコートマンツーマンでスタート。先制したのは日本航空。#11を起点に、#42との連携プレーを見せる。一方、実践学園はスターティングメンバー全員で得点するなど多彩な攻撃で応戦。16対19と日本航空リードで第1Q終了。

第2Q、日本航空は#11のドライブインシュートや#42のリバウンドシュートで25対18と7点差とする。実践学園はタイムアウトを取るも、その後もシュートを決めきれずリバウンドを取られるという苦しい状況が続く。その間も、日本航空は#11を起点とした攻撃で、#42ゴール下シュートや#5の3Pで20対36と16点差とする。残り3分、実践学園は#6のドライブインシュートと3Pの連続得点、#8のドライブインシュート、#4の3Pで得点するも、日本航空は#5の3Pや#11の速攻でバスケットカウント、さらにフリースローも2本しっかりと沈め、31対44と日本航空が13点リードして前半を折り返す。

第3Q、日本航空は#42のリバウンドシュート、#5のゴール下シュートで得点、実践学園も#8がドライブインシュートと3Pと連続得点するなど、しばらく小康状態が続く。残り2分30秒、日本航空#42が4つ目のファウルでベンチに下がると、実践学園の#5がゴール下で粘りを見せる。しかし、日本航空も#17、#0、#5が得点を重ね、42対62と20点差で第3Q終了。

第4Q、実践学園は#6のドライブインシュートを皮切りに、#5の連続リバウンドシュート、さらに#8の3Pで51対64と13点差に追い上げる。ここで日本航空はタイムアウト、#42をコートに戻す。実践学園は#6のリバウンドシュートとジャンプシュートで55対65と10点差。さらに、これ以上ファウルできない日本航空の#42に対し実践学園の#5が果敢に1対1を仕掛け、連続得点。しかし、日本航空もリバウンドから速攻を決め、追撃を許さない。実践学園はオールコートプレスを仕掛けるも、61対75で日本航空が初戦を突破した。

Ref	久保 あしみ	1st U	三角 峻	2nd U	小森 葉子
-----	--------	-------	------	-------	-------